

「で…どう思った？」ぶっちゃけ感想座談会!

おそらく日本初の本格香港漫画展覧会だった「PLAY!香港コミックス巡回展」東京展。長く香港漫画をマニアックに追いつけてきた当サークル構成員には、思うところがアレコレありまして…他にも海外漫画イベントが集中するさなかの 11/23, ゲストに大江・留・丈二氏をお迎えし、3人でぶっちゃけ感想座談会を行いました。(於:新宿東口駅前「くいものや わん」)

【座談会メンバー】

KRONOS(K): 本業はシナリオライター。「大香港研究会」構成員。今回の巡回展は初日・土・日・水曜日に観覧。

てんしゅ松田(T): あやしい香港漫画売りさばき人 & ヲタ系なんでも屋。「大香港研究会」構成員。巡回展は初日・土・日・水曜日に観覧。

大江・留・丈二(O): ゲスト。内外の漫画にとってもとってもかわいい人。「韓国アニメ大全」(パブリブノ刊)の編集にも参画。巡回展は初日に観覧。

O「11月は『海外マンガフェスタ』他イベントに合わせて、海外漫画アーティストがたくさん来日しました」

T「そう。なにもそれと『香港コミックス巡回展』をぶつけることはないじゃないか! 違う時期にやりやいいじゃん! と思った」

K「でも、実施したことについて文句は言えませんか」

T「まあねえ。開催したことで本当に実りは大きかった。絶対会えないようなVIPにいっぱい会えたから、それは良かったなあと思うんだけど、ほんと、決定が突然すぎてねえ…」

K「そもそも、本当に開催直前で知らせが入った」

T「うん。私もTwitterで知ったんです。大江さんも、私が『浅川満寛さんってどんな人?』ってメールを送ったことで知ったんですよね?」

O「はい」

T「おしぐちたかしさんも知らなかったみたいです。去年『海外マンガフェスタ』でもらった名刺で連絡してみたら『司徒劍僑さん、なつかしいですね』みたいな返事が来て、『行けたら行きます』と。だけどもやお土産まで持っておみえになられるとは。おしぐちは今回、安彦良和さんの色紙をお土産に司徒劍僑さんに会いに行って、会場すぐ隣のティールームで旧交を温め合ったようです。で、そのあとのトークショーで司徒劍僑さんが喋ってるのを客席で見ました。おしぐちさん自身はトークショーでは何も喋っていませんでしたが」

O「はい」

T「劍僑さんはメチャクチャ元気そうでしたね。っていうか…司徒劍僑、若返ってカッコよくなってませんか?」

K「昔は眼鏡かけてたんですが」

O「なんか、最近の香港の漫画家さんってすごく若作りしてる人が多いですね」

おしぐちたかし氏: 漫画ライター。新宿「まんの森」店長も歴任し、アメコミほか海外漫画の泰斗。90年代に雑誌「ゲーメスト」で香港漫画を紹介し、氏の記事でストII漫画「街頭霸王」を知った人も多い。司徒劍僑氏とは旧知の仲。

小野耕世氏: いわずと
しれた日本における海外コ
ミック紹介の大親分。
1968 年創刊「COM」のア
メコミ記事、池上遼一ス
パイダーマンの原案&セ
リフから、欧州漫画、さら
にアジアのアニメ・漫画事
情も。1983 年刊行「いま
アジアが面白い」(晶文社
／刊)を読みましょう。古
本ですが入手容易。

鵜野孝紀氏: フランス語
翻訳者、日仏漫画コー
ディネーター。バンドデ
シネの翻訳多数、映画
化もされた「はちみつ色
のユン」など。後述「トン
カム」で日本漫画のフラ
ンスでの出版に尽力。

ÉDITIONS TONKAM: フラ
ンスで日本漫画販売を行う
出版社。1985 年創業。は
じめは原書コミック本の輸
入販売、1994 年から仏語
翻訳出版事業開始。「ル
・オタク フランスおたく物語
(講談社文庫 清谷信一／
著)」に詳しく書いてあるら
しい。

T「そう！ そうなんです。で、トークショーの客席ではおしぐちさんの
隣に小野耕世先生がいて、鵜野孝紀さんもいらした。WEBサイト
『comicstreet.net』に載せたレポートをぜひ見てほしいです。小野耕
世先生の写真撮りましたから、わたくし」



O「小野さんはもう何十年も香港に行っていないですね？」
T「うん。壇上に上がって『僕は30年前のことしかわからないからねえ
ー』って言ってました。その場にいる人たちがこう皆、香港漫画の
現代事情をわかってない状態だったっていうのはありますね」
O「おしぐちさんは割と数年前に香港行ってませんでした？」
T「うーん……。おしぐちさん、最近のご活動は？」
O「『復刊ドットコム』」
T「『復刊ドットコム』は香港がらみのことってやりましたっけ？」
O「いや、やってないですね。鵜野さんは何か香港の仕事なさってま
した？『トンカム』で？それとも日本に戻ってから？」
T「それが、フランスで『超神Z』翻訳版の発行に関わったんだ、ってお
っしゃるんですよ」
O「はー、へー！」
K「フランス版は雑誌の『トンカム』社広告で見たことがある」
T「『トンカム』ってどういう会社なんですか？」
O「フランスで日本の漫画単行本を翻訳出版していました」
T「へー。フランス版『超神Z』って何巻ぐらい出たんですかね？香港
では本編全10巻、part2が1巻出てますけど」
K「それは知らない」
T「鵜野さんに聞けばわかるってところですが」
K「2巻以降も出たんだろうか？日本じゃ結局、連載は 2 巻分、単行本
は 1 巻しか出なかった」
T「ですよー。日本版はメディアワークスが出版して、載った雑誌は
何でしたっけ？」
K「『電撃少年』」